

感染症科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) 感染性心内膜炎の抗菌薬治療及び外科治療の評価
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	感染症科
研究責任者	准教授 小泉祐介
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	埼玉医科大学国際医療センター 感染症科・感染制御科 教授 光武耕太郎
研究の意義・目的	MRSA による感染性心内膜炎に対して用いられた抗生物質の種類と治療効果、また外科治療の実施（率）と治療効果について明らかにします。
対象となる患者さん	2015年1月1日から2019年4月30日までにMRSAによる感染性心内膜炎の確定診断が得られ、当院で治療を受けられた患者さん
研究の方法	対象となった患者さんの診療情報（年齢、性別、元々あるご病気、心内膜炎の原因となった菌MRSAの薬剤感受性、治療抗菌薬の種類、血液から菌が消えるまでの時間、外科治療の有無、転帰）を調査票に記載し、責任研究機関に提出します。 ※患者さんご自身が研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することは可能です。ご希望の場合はできること並びに入手・閲覧を希望する場合には下記問い合わせ先に、電話もしくは手紙にてご連絡下さい。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2020年12月31日
研究に用いる試料・情報	試料：なし 情報：年齢、性別、元々ある御病気、心内膜炎の原因となった菌（MRSA）の薬剤感受性、治療抗菌薬の種類、血液から菌が消えるまでの時間、外科治療の有無、転帰など
外部への試料・情報の提供	研究で得られた情報は電子媒体で、共同研究機関である埼玉医科大学総合医療センターに提供します。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。

問い合わせ先	愛知医科大学病院 感染症科 担当者：(職名) 准教授 (氏名) 小泉祐介 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 12330)
--------	--